

第7回仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議 議事概要

日 時：令和2年12月21日(月)17時00分～17時28分

場 所：仙台市役所本庁舎3階 秘書課第一応接室

出席者：郡市長（議長）、藤本副市長、高橋副市長、危機管理監、総務局長、新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長、まちづくり政策局長、財政局長、市民局長、健康福祉局長、子供未来局長、環境局長、経済局長、文化観光局長、都市整備局長、建設局長、青葉区長、宮城野区長、若林区長、太白区長、泉区長、会計管理者、消防局長、教育長、議会議務局長、水道事業管理者、交通事業管理者、ガス事業管理者、病院事業管理者
仙台市医師会 永井顧問、宮城県保健福祉部 武内次長

- 次 第：1. 開 会
2. 議 事
 (1)本市の感染状況について
 (2)本市の経済支援等の取り組みについて
 (3)年末年始における各局区の対応について
3. 閉 会

議事要旨：

(1)本市の感染状況について

- ・政府は、新型コロナウイルス感染症対策分科会における有識者からの提言を受け、14日の新型コロナウイルス感染症対策本部において、GOTO トラベルキャンペーンを、全国で12月28日から1月11日まで一時停止することを決定。
- ・特に、北海道、首都圏、中部圏、関西圏などで感染拡大が続いており、宮城県や本市においても、連日多くの感染者が出ている。全く予断を許さない、大変厳しい状況にある。
- ・本日は、本市における年末年始の対応などについて議題とする。
- ・資料1について危機管理監より説明

(2)本市の経済支援等の取り組みについて

- ・資料2について経済局長より説明
- ・資料3について文化観光局長より説明

(3)年末年始における各局区の対応について

- ・資料4について危機管理監より説明

○関係局長より報告

<健康福祉局長>

- ・年末年始も新型コロナウイルス感染症対策に必要な体制を確保する。
- ・検査体制は、1日最大240件を実施できる体制を構築。
- ・宿泊療養所も、県庁と連携し24時間体制で運営する。
- ・医療機関の状況だが、年末年始期間中は休日当番医による診療を実施。急患センターと初期救急体制に加え、今年は臨時に仙台オープン病院にて内科外来診療の体制を取って頂く。

<消防局長>

- ・仮に局内で感染者が出た場合も、局内の応援により救急搬送に支障が出ない体制を構築。
- ・クラスターが発生するなど、保健所から移送の協力があつた場合しっかりと応えたい。

<病院事業管理者>

- ・県・市保健所と調整のうえ、新型コロナウイルス陽性患者の入院受入れを行い、診療体制

を確保する。

- ・クラスター等発生し、緊急対応が必要になった場合は、緊急連絡網により関係者を招集して対応する。

○市長より総括

- ・これまでも感染拡大の防止、感染者の治療等に最前線で対応しておられる保健所、衛生研究所、市立病院をはじめ、職員が年末年始も尽力いただくことに感謝する。
- ・先週 16 日に、宮城県知事、宮城県・仙台市の両医師会の会長とともに、年末年始をひかえ、全国的な感染拡大状況も踏まえて、「宮城県新型コロナウイルス危機宣言」を発表した。市民、事業者の皆様に向け、さらなる感染対策の呼びかけなど、広報と周知にもしっかりと努めたい。
- ・市内の感染を早期に封じこめるため、県や医療機関とも連携の上、PCR 検査、積極的疫学調査にも、引き続き全力であたりたい。
- ・年末年始が重要な期間となるので、各局等の取り組みにも万全を期すように。また、地域経済も大変厳しい状況にあるので、国の第三次補正を踏まえ、その内容を精査して、感染防止対策、地域経済への追加的な経済支援策など、本市の対応について早急に検討してほしい。

○仙台市医師会 永井顧問より

- ・アメリカでは毎日 20 万人を超える感染者が出ている。ヨーロッパでも感染が増えており、イギリスでは 1 日 3 万 5 千人の感染が出ており、死者の累計が 6 万 5 千人を超えた。変異種が出たという情報も入っている。
- ・日本の状況で心配しているのは、新規感染者数が右肩上がりであること。札幌では急に高齢者の感染が増え、医療機関の体制が厳しくなっていると聞いた。
- ・高齢者施設でのクラスターや、医療機関での院内感染が発生すると厳しい。
- ・認知症患者については、日常の世話があり、入院先で非常に負荷がかかっている。高齢者施設でのクラスターが数件出ると仙台市の医療機関は厳しい状況となる。こうしたことが年末に起こると、業務状況がひっ迫するのではないかと。

○宮城県保健福祉部 武内次長より

- ・県内の感染状況、全県で厳しい。
- ・仙台市と密接に連携協力し、感染症対策に全力で当たりたい。

○市長メッセージ

- ・例年であれば、多くの皆様が年末年始を利用した帰省や旅行、忘年会・新年会などを楽しみに行っている時期にあたる。
- ・しかし、仙台市では、新型コロナウイルスの感染者が急激に増加しており、感染症収束の兆しが見られない大変厳しい状況にある。市民の皆様には、是非、この年末年始を静かに過ごしていただきたい。
- ・念頭においていただきたいのは、年末年始は多くの医療機関がお休みになるということ。
- ・仙台市・宮城県ではコールセンターを設置しているが、年末年始には、ご紹介できる医療機関も限られるので、どうかこれまで以上に体調管理と感染予防対策の徹底をお願いしたい。
- ・新型コロナウイルス感染症では無症状や症状のごく軽い方からの感染の拡大が、懸念されている。人が移動する際には、感染のリスクが伴う。離れて暮らしているお子さんやお孫さんと顔を合わせたいという思いは誰しも同じだと思うが、この年末年始には帰省や旅行はできる限り慎重をお願いしたい。感染が拡大している地域との往来には、特に慎重な判断をお願い

いしたい。

- また、会食を行う際には、感染対策ができているお店を選んで、ご自身の感染対策をしっかりとした上で利用していただきたい。そして、少人数かつ短時間での利用を心掛けるとともに、お酒は少量にし、会話の際はマスクを着用してほしい。体調が悪い時は、会食等に参加しないようにしてほしい。
- 事業者の皆さまにおかれましても、業種ごとのガイドラインを遵守していただき、市民の方々が安心して利用できる対策をお願いします。
- 日本においても、ワクチンの承認申請がなされたというニュースも聞こえているが、今がまさに正念場。皆さま自身、そして、皆さまにとって、かけがえのない人を守るために、危機感を共有し、心ひとつにして感染症に立ち向かってまいりたい。

以上